

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成26年8月12日
【四半期会計期間】	第101期第2四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	日華化学株式会社
【英訳名】	NICCA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江守 康昌
【本店の所在の場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門副部門長 澤崎 祥也
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門副部門長 澤崎 祥也
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第100期 第2四半期連結 累計期間	第101期 第2四半期連結 累計期間	第100期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年1月1日 至平成26年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日
売上高 (千円)	22,963,108	19,542,369	33,584,611
経常利益 (千円)	2,062,901	1,688,383	3,280,125
四半期(当期)純利益 (千円)	1,737,485	1,129,589	2,678,117
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	3,341,643	814,106	5,459,418
純資産額 (千円)	17,213,006	19,468,190	18,984,899
総資産額 (千円)	37,662,903	39,767,283	40,774,643
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	98.74	64.21	152.20
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	39.2	42.7	40.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,493,250	2,361,778	4,859,499
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	559,233	715,641	330,216
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,116,153	981,639	3,291,981
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	3,837,635	5,584,109	5,063,342

回次	第100期 第2四半期連結 会計期間	第101期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	45.66	30.59

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。)は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第100期より、連結決算日を3月31日から12月31日に変更しております。この変更に伴い、第100期第2四半期連結累計期間については、当社及び3月決算であった連結対象会社は平成25年4月1日から平成25年9月30日までの6ヶ月間、12月決算の連結対象会社は平成25年1月1日から平成25年9月30日までの9ヶ月間を連結する変則的な決算となっております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
平成26年12月期第2四半期連結累計期間	19,542	1,696	1,688	1,129
(参考)前年同一期間 1	17,927	1,348	1,515	965
調整後増減率 1	9.0%	25.8%	11.4%	17.0%
平成25年12月期第2四半期連結累計期間 2	22,963	1,871	2,062	1,737

1 (参考)「前年同一期間」の金額は、当第2四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年6月30日まで)に対応する前年の同一期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)であり、「調整後増減率」はこれに対する当第2四半期連結累計期間の増減率を記載しております。

以下、増減については、この「前年同一期間」との比較で記載しております。

2 平成25年12月期第2四半期連結累計期間は、当社及び3月決算であった連結子会社は平成25年4月1日から平成25年9月30日までの6ヶ月間を、12月決算の連結子会社等は平成25年1月1日から平成25年9月30日までの9ヶ月間を連結対象期間としております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)におけるわが国経済は、新興国経済の成長鈍化の影響が懸念されるものの、金融緩和をはじめとした政策効果等により景況感に改善の動きが見られ、懸念されていた消費税増税も限定的な影響に留まるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は195億4千2百万円(前年同一期間比9.0%増)、営業利益は16億9千6百万円(同25.8%増)、経常利益は16億8千8百万円(同11.4%増)、四半期純利益は11億2千9百万円(同17.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

	売上高			セグメント利益		
	第2四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)	第2四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)
	(参考) 前年同一期間 (百万円)	平成26年12月期 第2四半期 (百万円)		(参考) 前年同一期間 (百万円)	平成26年12月期 第2四半期 (百万円)	
化学品	14,251	15,637	9.7	1,093	1,554	42.1
化粧品	3,675	3,904	6.2	870	885	1.7
合計	17,927	19,542	9.0	1,964	2,439	24.2

#### 化学品事業

売上高は156億3千7百万円(同9.7%増)、セグメント利益は15億5千4百万円(同42.1%増)となりました。

海外では、韓国や台湾における新規案件の販売拡大に加え、中国において高機能薬剤が伸張するなど、東南アジア地区において繊維加工用薬剤が好調に推移し売上高は大きく伸張しました。国内では、消費税増税の影響等によりホームクリーニング向け業務用洗剤は低調でしたが、自動車産業の回復を受け、自動車内装用薬剤等の繊維加工用薬剤が好調に推移し売上高は増加しました。

## 化粧品事業

売上高は39億4千万円（同6.2%増）、セグメント利益は8億8千5百万円（同1.7%増）となりました。美容サロン業界においては消費増税前駆け込み需要の反動など、業界全体の短期業績が激しく振れる中、当社主力ブランドであるデミコスメティクスや、イーラル株式会社が堅調に推移し、山田製薬株式会社における「アンサージュ」や生産受託事業などの多角化事業が高成長した結果、売上高は増加しました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有形固定資産の取得に伴う支出8億9千9百万円や、借入金の減少7億4百万円等があったものの、営業活動によるキャッシュ・フローが23億6千1百万円得られたこと等により、前連結会計年度末に比べ、5億2千万円増加し、55億8千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は23億6千1百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加に伴う減少2億4千8百万円、仕入債務の減少に伴う減少2億5千8百万円、法人税等の支払5億5百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益18億3千7百万円、減価償却費8億4千万円に加え、売上債権の減少に伴う増加8億4千9百万円等があったことによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は7億1千5百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8億9千9百万円、有形固定資産の売却による収入2億2千2百万円によるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は9億8千1百万円となりました。これは主に、借入金の減少及び配当金の支払によるものです。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、9億8千4百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,932,000
計	44,932,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,710,000	17,710,000	名古屋証券取引所市場第 二部	単元株式数 1,000株
計	17,710,000	17,710,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年4月1 日～平成26年6月30 日	-	17,710,000	-	2,898,545	-	3,039,735

(6) 【大株主の状況】

平成26年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
江守グループホールディングス株式会社	福井県福井市毛矢1丁目6番23号	2,558	14.44
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5番1号	2,338	13.20
日華共栄会	福井県福井市文京4丁目23番1号	1,716	9.69
有限会社江守プランニング	福井県福井市宝永2丁目1番30号	1,444	8.15
日華化学社員持株会	福井県福井市文京4丁目23番1号	717	4.05
江守 康昌	福井県福井市	528	2.98
江守 幹男	福井県福井市	506	2.85
財団法人江守アジア留学生育英会	福井県福井市文京4丁目23番1号	500	2.82
株式会社福井銀行	福井県福井市順化1丁目1番1号	344	1.94
宗教法人妙見山歓喜寺	福井県南条郡南越前町清水51-1-2	338	1.91
計	-	10,992	62.03

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 117,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,487,000	17,487	-
単元未満株式	普通株式 106,000	-	-
発行済株式総数	17,710,000	-	-
総株主の議決権	-	17,487	-

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
日華化学株式会社	福井市文京4丁目23番1号	117,000	-	117,000	0.66
計	-	117,000	-	117,000	0.66

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,248,130	5,660,526
受取手形及び売掛金	4,926,029	8,226,982
商品及び製品	2,469,456	2,564,557
仕掛品	700,415	696,212
原材料及び貯蔵品	2,600,543	2,671,624
その他	942,971	1,090,191
貸倒引当金	58,855	54,591
流動資産合計	21,165,692	20,855,502
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	7,072,167	6,659,547
機械装置及び運搬具(純額)	2,735,527	2,520,108
土地	5,814,010	5,756,017
その他(純額)	675,673	808,913
有形固定資産合計	16,297,378	15,744,587
<b>無形固定資産</b>		
のれん	307,811	267,177
その他	587,808	644,156
無形固定資産合計	895,619	911,334
投資その他の資産	1,241,952	1,255,859
<b>固定資産合計</b>	19,608,950	18,911,781
<b>資産合計</b>	40,774,643	39,767,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,407,895	3,737,553
短期借入金	7,016,482	6,870,206
未払法人税等	392,196	483,706
賞与引当金	243,500	310,000
その他	2,458,195	1,957,644
流動負債合計	14,190,270	13,359,109
固定負債		
長期借入金	4,112,443	3,441,408
退職給付に係る負債	2,559,630	2,559,692
その他	927,399	938,883
固定負債合計	7,599,473	6,939,983
負債合計	21,789,743	20,299,093
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,249	3,040,249
利益剰余金	10,173,714	11,127,361
自己株式	49,677	50,854
株主資本合計	16,062,832	17,015,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206,675	204,596
為替換算調整勘定	267,779	88,332
退職給付に係る調整累計額	185,235	166,156
その他の包括利益累計額合計	289,219	49,891
少数株主持分	2,632,847	2,502,780
純資産合計	18,984,899	19,468,190
負債純資産合計	40,774,643	39,767,283

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	22,963,108	19,542,369
売上原価	15,280,272	12,409,894
売上総利益	7,682,836	7,132,475
販売費及び一般管理費	1 5,811,797	1 5,436,097
営業利益	1,871,038	1,696,377
営業外収益		
受取利息	14,153	27,740
受取配当金	19,271	40,559
持分法による投資利益	67,509	34,591
為替差益	115,899	-
その他	139,818	107,820
営業外収益合計	356,653	210,712
営業外費用		
支払利息	88,896	49,745
為替差損	-	69,427
売上割引	43,522	43,584
その他	32,371	55,948
営業外費用合計	164,790	218,706
経常利益	2,062,901	1,688,383
特別利益		
固定資産売却益	7,060	160,516
事業譲渡益	1,380,053	-
特別利益合計	1,387,114	160,516
特別損失		
固定資産除却損	2,106	854
固定資産売却損	710	76
関係会社株式売却損	-	9,980
投資有価証券評価損	886	-
ゴルフ会員権評価損	-	510
減損損失	2 892,590	-
特別損失合計	896,294	11,421
税金等調整前四半期純利益	2,553,721	1,837,478
法人税等	541,707	584,050
少数株主損益調整前四半期純利益	2,012,014	1,253,428
少数株主利益	274,528	123,838
四半期純利益	1,737,485	1,129,589

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,012,014	1,253,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,121	2,078
為替換算調整勘定	1,306,508	456,321
退職給付に係る調整額	-	19,079
その他の包括利益合計	1,329,629	439,321
四半期包括利益	3,341,643	814,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,813,663	790,477
少数株主に係る四半期包括利益	527,979	23,629

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,553,721	1,837,478
減価償却費	1,064,391	840,644
減損損失	892,590	-
事業譲渡損益(は益)	1,380,053	-
のれん償却額	39,356	40,155
投資有価証券評価損	886	-
ゴルフ会員権評価損	-	510
退職給付引当金の増減額(は減少)	58,976	-
退職給付に係る負債の増減額	-	20,231
賞与引当金の増減額(は減少)	2,000	66,500
貸倒引当金の増減額(は減少)	477	1,185
受取利息及び受取配当金	33,424	68,300
支払利息	88,896	49,745
為替差損益(は益)	16,642	21,194
持分法による投資損益(は益)	67,509	34,591
固定資産処分損益(は益)	4,243	159,584
投資有価証券売却損益(は益)	-	9,980
売上債権の増減額(は増加)	288,482	849,779
たな卸資産の増減額(は増加)	155,565	248,156
仕入債務の増減額(は減少)	112,846	258,568
未払消費税等の増減額(は減少)	45,997	128,801
その他	198,095	60,703
小計	4,028,739	2,855,346
利息及び配当金の受取額	187,179	59,532
利息の支払額	87,373	47,304
法人税等の支払額	635,294	505,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,493,250	2,361,778
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	153,672	41,073
定期預金の払戻による収入	153,672	143,743
有形固定資産の取得による支出	693,719	899,078
有形固定資産の売却による収入	47,384	222,763
投資有価証券の取得による支出	7,737	5,853
投資有価証券の売却による収入	-	20
貸付金の回収による収入	4,335	-
事業譲渡による収入	1,380,053	-
その他	171,082	136,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	559,233	715,641

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	16,801,925	22,498,655
短期借入金の返済による支出	18,242,548	22,368,031
長期借入金の返済による支出	1,430,182	834,904
少数株主からの払込みによる収入	65,417	-
配当金の支払額	176,093	175,180
少数株主への配当金の支払額	133,096	101,001
自己株式の取得による支出	1,574	1,177
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,116,153</b>	<b>981,639</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	267,776	143,731
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,204,106	520,766
現金及び現金同等物の期首残高	2,633,528	5,063,342
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,837,635	5,584,109

【注記事項】

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

( 税金費用の計算 )

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

( 四半期連結貸借対照表関係 )

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成26年 6 月30日)
投資その他の資産	5,048千円	4,870千円

2 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)		当第 2 四半期連結会計期間 (平成26年 6 月30日)	
	外貨額 (千)	円換算額	外貨額 (千)	円換算額
徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$3,000	10,553千円	NT\$6,750	22,905千円

3 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成26年 6 月30日)
受取手形割引高	6,284千円	8,254千円
受取手形裏書譲渡高	20,120	19,406

4 四半期連結会計期間末日満期手形

期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末残高に含まれておりません。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成26年 6 月30日)
受取手形	217,523千円	- 千円
支払手形	87,941	-

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
役員報酬及び給料	1,615,219千円	1,460,336千円
賞与引当金繰入額	245,475	260,627
退職給付費用	96,725	80,753
貸倒引当金繰入額	1,609	-

2 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

場所	用途	種類
台湾台北県板橋市	操業停止予定の工場等	建物及び構築物等
東京都墨田区	売却予定の支店	建物及び構築物等
福井県越前市	売却予定の遊休資産	土地

当社グループは、減損会計の適用に当たって、報告セグメント(化学品、化粧品)を基礎としてグルーピングし、遊休資産については個々の資産ごとに、減損の兆候を判定しております。

当第2四半期連結累計期間において、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額64,255千円を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、当該資産の回収可能価額は他への転用及び売却の可能性がないことから、その価値を零としております。

また、売却を決定した支店に係る建物及び構築物等及び売却を決定した遊休土地について、当該資産の帳簿価額を売却予定額まで減額し、当該減少額それぞれ748,532千円、79,802千円を減損損失として特別損失に計上しました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
現金及び預金勘定	4,003,267千円	5,660,526千円
預入期間が3か月を超える定期預金	165,631	76,416
現金及び現金同等物	3,837,635	5,584,109



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	175,978	10	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月7日 取締役会	普通株式	105,573	6	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月28日 定時株主総会	普通株式	175,942	10	平成25年12月31日	平成26年3月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年7月31日 取締役会	普通株式	140,743	8	平成26年6月30日	平成26年9月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	18,922,606	4,040,501	22,963,108	22,963,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	392	918	1,310	1,310
計	18,922,999	4,041,420	22,964,419	22,964,419
セグメント利益	1,490,818	1,021,938	2,512,757	2,512,757

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,512,757
セグメント間取引消去	7,897
全社費用(注)	649,615
四半期連結損益計算書の営業利益	1,871,038

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化学品」セグメントにおいて、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。また、「化学品」及び「化粧品」セグメントにおいて、売却を決定した支店に係る建物及び構築物等について、当該資産の帳簿価額を売却予定額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、それぞれ64,255千円、748,532千円であります。

この他、報告セグメントに配分されない全社資産である遊休資産に係る減損損失79,802千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	15,637,947	3,904,421	19,542,369	19,542,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	506	9,157	9,664	9,664
計	15,638,454	3,913,578	19,552,033	19,552,033
セグメント利益	1,554,443	885,264	2,439,707	2,439,707

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,439,707
セグメント間取引消去	4,851
全社費用（注）	748,182
四半期連結損益計算書の営業利益	1,696,377

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	98円74銭	64円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,737,485	1,129,589
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,737,485	1,129,589
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,597	17,593

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年7月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・140,743千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・8円00銭

(ハ) 支払い請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成26年9月8日

(注) 平成26年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年8月11日

日華化学株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 近藤 久晴 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。